

[キャラクター](#) > [タ行](#) > [ト](#)

トワニング

「[機動戦士ガンダム](#)」

「[ガンダムセンチネル](#)」

データ

画像		PROFILE	
	所属	ジオン公国軍ネオ・ジオン軍	
階級		准将 (機動戦士ガンダム)	
主な搭乗機			
登場		機動戦士ガンダムガンダムセンチネル	
声優			
参考資料		SD ガンダム G ジェネレーション FEB No.12 キャラクター大図鑑 I	

内容

ネオ・ジオン軍の指揮官。

かつて旧公国軍突撃機動軍に所属しており、キシリア・ザビ直属の部下であったとする資料もあるが、[ギレン・ザビ](#)死亡後、全権を握ったキシリアの副官となった。それ以前はギレン配下であるとされる (EB キャラクター大図鑑 I)。

ア・バオア・クー攻防戦においてキシリアが[ギレン・ザビ](#)を射殺した際には、部下に適切な指示を出し、混乱を最小限に抑えている。

またキシリアが脱出する際にも要塞に残留し、防戦を指揮して負傷、連邦軍の捕虜となった。

戦後アイスランドの捕虜収容所に収容されていたが、ジオン軍残党の手引きで脱走。

アクシズに逃れてネオ・ジオンの一員となっている。

「ペズンの反乱」に際しては反乱部隊を支援すべく艦隊を率いて出撃したが、到着直前にエアーズ市が陥落。

[トワニング](#)は残存部隊を回収して撤収した。

※キシリア配下とする説はEB 戦略戦術大図鑑ほか多数散見されるが、最も著名なものはファン・ブック『僕たちの好きなガンダム』で、キシリアの親衛隊という設定がある。

※ EB の戦略戦術大図鑑等でもキシリアの副官とする記述が散見されるが、TV 版本編を観る限りにおいて、EB No.12 キャラクター大図鑑 I に記載されている記述が最も信頼できる。

「ギレンの死後はキシリアに従い、要塞陥落寸前、投降後の身の保証を確認の上、降伏命令を受けようとした。(メディアワークス社刊 EB No.12 キャラクター大図鑑 I)」